

名称

池尻稲荷神社を中心とする旧大山道

住所 世田谷区池尻二丁目 34 番 15 号および旧大山道部分

位置図



地域風景資産の特徴

池尻稲荷神社は17世紀に建立された。江戸時代の大山道に面しており、境内には涸れずの井戸があり旅人の喉を潤したといわれる。現在でも井戸は健在である。その入口には、旧大山道の石碑や涸れずの井戸のモニュメントなどの歴史を語るものが置かれている。せたがや百景（昭和59年選定）にもなっている（No.2「大山道と池尻稲荷」）。



地域風景資産の選定の背景等

江戸時代の大山参りの幹線道として歴史ある旧道である。その面影は池尻稲荷神社に残されている。そこを中心に「大山道」をキーワードにして、その周囲の街づくりへと結びつくことが期待される。

備考